

## 〔国際会議〕

|        |                                                                                                       |         |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 申 請 者  | 東京都市大学知識工学部情報科学科 教授 田口 亮                                                                              | 2035006 |
| 研究集会名  | 2013 International Symposium on Intelligent Signal Processing and Communication Systems (ISPACS 2013) |         |
| 開催期間   | 2013 年 11 月 12 日～11 月 15 日                                                                            |         |
| 開催場所   | 沖縄県市長村自治会館（沖縄県那覇市）                                                                                    |         |
| 申請者の役割 | 実行組織委員会委員長                                                                                            |         |

## 概 要：

本国際会議はその名称が示すように、「メディア技術/システム」と「通信方式/システム」を2つの柱とする ICT (Information and Communication Technology) 分野の会議である。会議名称にある” Intelligent” とは「人間のための」、「環境に適応した」等の知的なソフトウェア/ハードウェア技術を追求することを意味している。すなわち、ICT 分野から『人間・環境との融合・調和を目指した技術を促進』する国際会議であり、今年が 21 回目の開催となった。本会議のスタート当初の 1990 年代はこれら ICT 分野の黎明期であったが、それから 20 年の月日が経ち、今日では円熟期を迎えている。

本年はタイ、台湾、韓国等の東南アジア諸国を中心に 17ヶ国から 65 名の外国人研究者を含め、日本人研究者を加えると総勢 200 名の参加を得るに至った。33 セッションで「メディア」と「通信」を中心に活発な討論が行われ、ICT 分野の研究発展に寄与したものと考ええる。

基調講演は「ICT 分野における先駆的研究」、「ICT 分野のビジネス」、そして、「良き ICT 社会構築のための提言」を目的とした講演であり、森川博之教授（東京大学）、Beyong Gi Lee 教授（Seoul National University）、藤本真樹氏（グリー株式会社）の 3 名が講演者であった。

本国際会議では優れた研究への称賛と若手研究者育成のために「論文賞」と「学生論文賞」の選出を行った。論文賞にも Korea University の学生を筆頭著者とする論文が選出され、3 名の優れた学生研究者に授賞することができた。